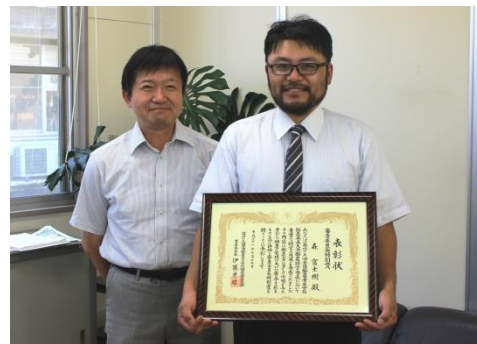


＊ 平成28年度の農業関連表彰者の紹介 ＊



新城設楽農林水産事務所 近藤所長に
受賞を報告する森さん（写真右）

第45回全国酪農青年女性発表大会にて、新城市の大東牧場代表の森富士樹さんが「この時間も牛たちは搾乳されています」と題して発表し、審査委員長特別賞を受賞しました。

搾乳ロボットの導入により省力化し、家族団らんの時間を増やした経営改善の取組が高く評価され、最優秀賞に次ぐ第二席の賞に輝きました。

第44回毎日農業記録賞にて、新城市でイチゴ栽培に取り組む中谷一基さんが愛知地区入賞を果たしました。

栽培の上での不便なことを解消するために、様々な工夫をして、新しいことに挑戦し、楽しみながら農業に向き合う姿勢が評価され、受賞に輝きました。



独自の栽培システムを検討する
中谷さん

冬本番、寒くなってきました！寒さ対策を忘れずに！

風邪をひきやすい時期です。体調管理に気を付けて農作業を行うようにしましょう。血圧が高い人は、屋内外の気温差から血圧が大きく変動しやすく、特に注意が必要です。以下のポイントに注意して、寒さ対策を心がけましょう。



◆屋外での作業

- ニットやダウンなど、空気を含む材質の服を選びましょう
- 重ね着で「空気の層」を作りましょう
- 防寒具で袖口や裾を塞ぎましょう



◆ハウス内での作業

- 気温差に注意して、こまめに衣類を調節しましょう
- 外に出る場合は、短時間でも上着を着ましょう
- 汗をかいたら十分拭き取りましょう

病害虫防除に関する初心者向け研修会を開催します！

日時：平成29年2月16日（木） 午後1時30分から午後3時まで
場所：JA愛知東作手営農センター 2階会議室
新城市作手高里字縄手下54-1

内容：病害虫防除の基礎について
定員：50名 だれでも参加できます！

参加を希望される方は、平成29年2月9日（木）までに農業改良普及課までご連絡ください。（連絡先は表紙参照）メールでのご連絡には、右のQRコードもご活用ください。



新城設楽普及だより

新城設楽農林水産事務所

平成28年度 新春号

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL：0536-62-0546 FAX：0536-62-1533

新城駐在室 新城市石名号20-1

TEL：0536-23-2172 FAX：0536-23-6010

メール（共通）：shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

事務所ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinshiroshitara-nourin/>

ネット農業あいち <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/nogyo-aichi/>



農業改良普及課長
杉浦 宏之

あけましておめでとうございます。

平素は、私ども農業改良普及課の推進業務へのご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

今年は酉(とり)年です。もともと「酉」は酒を入れる容器を意味するとのことです。象形文字である「酉」が徳利に見えますね。でも、お酒をたくさん飲む年ということではありません。収穫した作物から酒を作る、また作物が収穫できる状態である、という意味から「実る」という意味を持ちます。実り豊かな年になることを期待しましょう。

また、「申酉(さるとり)騒ぐ」という言葉があります。昨年の申(さる)年は国内外を問わず、世間を騒がせる事件・事象が多くありました。海外では、英国のEU離脱や米国の新大統領選出など大方の予想を覆す結果となり、歴史の1ページに記されることになりそうです。国内では、1月のスキーバス転落事故に始まり、4月に熊本、10月に鳥取と予期しない地域での地震、東京都知事の交代、人気グループの突然の解散騒動、ポケモンGOの世界的ヒットと弊害等々。11月末には青森と新潟で鳥インフルエンザが相次いで発生し、続いて県内においても東山動植物園で確認されてしまいました。引き続き騒がしい年とされる本年ではありますが、鶏の年ということでもあり、すっきり治まり平穏無事に推移することを期待します。

最後になりましたが、平成29年が皆さまにとりまして良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成28年度 新規認定三士のご紹介

平成28年11月25日（金）に、愛知県庁にて、農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士の認定式が開催されました。愛知県全体で88名、新城設楽地域からは3名が、地域の推進役となる農業者として大村愛知県知事の認定を受けました。

- 農業経営士 伊東 敦彦さん（設楽町・ミニトマト）
- 農村生活アドバイザー 鈴木 明美さん（新城市・茶、シタケ）
- 農村生活アドバイザー 菅谷 留美さん（新城市・ブドウ、イチジク）



農業情報

～産地の動きやイベントを紹介します～

作手花き園芸組合で初となる女性部だけのほ場巡回活動

作手花き園芸組合では、9月9日（金）に女性部のみで、市場担当者を招いてのほ場巡回を行いました。

日頃、女性部員がそれぞれのほ場を行き来する機会はなく、参加者からは「他の人がどう管理しているか、作物の状態がどうかなど、非常に参考になる」と、初めての取組に対して前向きな声が聞かれました。

ほ場巡回後には、農業改良普及課から鉢と植物のカラーコーディネートに関して情報提供を行いました。その後、商品作りについて、鉢の色、形をどうするかなど、市場の女性担当者を交えて和気あいあいと熱心に意見交換が行われ、有意義な活動になりました。



初めての巡回は上々



冬に向けて、イチジクの凍霜害対策講習会を開催

イチジクは仕立て方法が簡単で、軽労力で取り組めることに加え、栽培2年目から収穫ができるため、高齢者でも生産を始めやすい果樹です。

イチジクは冬季の低温に弱いため、新城市では徹底した凍霜害対策が必要です。そこで、11月22日（火）に凍霜害対策についての現地講習会を開催し、新規生産者を含む13名が参加しました。

講習会では、ワラ巻きなどの従来の対策に加え、より寒い地域向けの対策として、ワラとアルミ蒸着シートを組み合わせた方法についても、実演を交えて説明を行いました。

初めての冬期を迎える新規生産者は、「さっそく、家に帰ってやらなくては！」と意欲を見せていました。また、先輩生産者が新規栽培者に作業のコツなどを説明するなど、有意義な情報交換も行われていました。



冬に向けてしっかり対策

青年農業者が地元の高校生に農業の魅力語りました

農業改良普及課では、農業大学校と連携して、高校生の農業理解を深め、就農意欲を向上させるために「緑の学園研修」を開催しています。この研修にて、新城設楽地域の青年農業者が講師役を務め、高校生に向けて、農業の魅力を語りました。

9月5日（月）には、新城東高等学校作手校舎の生徒を対象に、作手地域で活躍している4Hクラブ員2名（肉用牛、ハウレンソウ）の現地視察を行いました。4Hクラブ員は、未来の後輩たちに対して、農業を職業として選択した理由や、農業の魅力、4Hクラブ活動について熱く語っていました。生徒らは、同じ地域の青年農業者が頑張っている姿を現場で見、良い刺激を受けていました。

10月20日（木）には、新城高等学校の生徒を対象に、青年農業者が「牛についてのあれこれ」をテーマに講義を行いました。講義では、自らの経営についてや、鳳来牛のPR、牛についての豆知識を語りました。生徒からは、「家で肉を食べる時に、今回学んだ豆知識を家族に披露したい」といった感想が聞かれました。



「作手の牛」のブランドを説明



農業についての想いを語る



高校生に鳳来牛をPR

あいちの伝統野菜「八名丸さといも」の形質保持に向けて

新城市では、あいちの伝統野菜である「八名丸さといも」が栽培されています。「八名丸さといも」は、一般的な里芋に比べて形が丸く、肉質が軟らかく、粘り気が強いことが特徴です。

平成27年度からは、「八名丸さといも」のブランドイメージを守るために、秀・優品のみを「八名丸さといも」として出荷することが決まり、形質保持の意識が高まっています。

八名丸さといも種芋研究会では、形質保持のために、地上部の特徴をもとにして毎年親株の選抜を行っています。今年度は9月に選抜を行い、11月16日（水）に、研究会長ら5人で、選抜した株から次年度の種芋を掘り取りました。

農業改良普及課では「八名丸さといも」の形質保持のために、親株選抜と併せて調査を毎年行っており、今年も収穫できた芋の個数と重量、丸いも率を調査しました。結果は研究会や関係機関で共有し、次年度以降の親株選抜に活かしていきます。

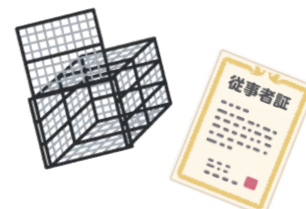


東栄町で初、捕獲従事者証の交付

東栄町振草桑原地区にて、9月13日（水）に「有害鳥獣捕獲における狩猟免許を有しない従事者容認事業」に基づく講習会が開催されました。参加した農家4名には、10月1日付けで「東栄町有害鳥獣捕獲従事者証」が交付されました。

同じ地区には「わな免許所持者」が居なかったため、これまでは他地区の猟友会員にわなの設置と管理を依頼していました。今後は従事者証を持つ人がわなの管理を行えるようになり、より効果的な獣害対策が期待できます。

農業改良普及課では、今後もこの制度を利用して集落ぐるみの捕獲補助活動を進めていきます。



現地でわなの取扱いを学ぶ

地元農産物を使った新商品！

設楽町の道の駅「アグリステーションなぐら」にて、新メニュー「名倉ご飯定食」と「コーンスープ」が提供されています。

「名倉ご飯定食」は、設楽町産の農産物やエゴマを使った加工品を取り入れた、地元を味わえる定食です。また、「コーンスープ」は、名倉産の甘味豊かなトウモロコシを一年中味わえる一品です。

新城市内の産直などで、12月中旬から「つくしんぼうの会」の新商品「無花果ドレッシング」が販売されています。

イチジクの甘味とだしの旨味が効いた特徴的な味わいが、地元の特産品である鳳来牛によく合います。

お立ち寄り際にはぜひご賞味ください。

